

写経勸進のお願い

駒場瀧不動尊は、およそ1100年前に慈覚大師によって世の平安と人々の幸福を念じ、自ら不動尊像を刻み祀られた古刹であります。

山門（仁王門）は文化文政の頃、郷土の義民・菊地多兵衛によって建てられました。幾星霜を経て、修復が望まれるようになり、文化財護持（屋根改修）のため、また鐘楼の老朽化のため『写経勸進』を発願し、浄財を改修資金の一部にさせて戴きますのでご協力をお願い致します。

◎写経の功德

お経を見る事には非常に大きな功德があり、また、声に出して読むと更に大きな功德があり、更には書き写す事で非常に大きな功德があるといえます。お経を一文字一文字心をこめて書き写すのは仏像一体一体を刻む事と同じ事なのです。どんな人々にも本来清浄な心があり、自らの手でお経を書写することにより発菩提心を発見することがお写経の最大の功德であります。なお、皆様方の写経は諸堂へ奉納して、ご祈祷させていただきます。

一部 千円

〔写経用紙・書き方見本〕
・返信用封筒付

（申込先）

駒場山 愛敬院

九八一―二二一六

宮城県伊具郡丸森町字不動五九

電話 F A X 0224 (72) 6003